

大宮学園 小中一貫教育だより

ひなあられピンクをえらぶ小さな手

令和2年2月25日発行 大宮学園事務局

大宮学園「性に関する教育」(第一小・南小・大宮中)

1月21日(火)は大宮第一小学校で、翌22日(水)には大宮南小学校で「性に関する教育」の授業参観が実施されました。大宮学園小・中学校ではこの時期を中心に、年間を通して子どもたちの発達段階に応じ、計画的に上記教育を進めています。ここでは、両小学校授業参観時の授業内容と、同時期に取り組んでいた大中での授業内容を紹介します。



北保育所雛飾

【小学校における「性に関する教育」の公開授業内容と中学校での指導内容】

	学年	育てたい力	大宮第一小	大宮南小
小学	1年	自分の命や体のこ	おへそってなあに	おへそのはなし
	2年	とが分かる	赤ちゃんの誕生	おなかの中の赤ちゃん
	3年	自分の命の成り立ちと心	命のはじまりとつながり	大切ないのち
	4年	身の成長について分かる	育ちゆく体とわたし	育ちゆく体とわたし
	5年	思春期における体と心の	心の健康	心の発達・脳のしくみとはたらき
	6年	変化について分かる	共生	エイズについて考える
大宮中	1年	心や体の変化と相手へ	生命の誕生、思春期の心とからだ	
	2年	の思いやりや命の大切	思春期の心の発達、望ましい男女交際	
	3年	さが分かる	性感染症、生命の大切さ、将来の夢・目標	

＜小学校での指導の様子：各学年、左が第一小、右が南小＞



<大宮中学校の様子>



【1年生】講話「助産師が行く！
いのちの出前講座」
京都府助産師会 谷口 貴子 様
【3年生】講話「生きているだけで
100点満点！」
助産師 太田 祐子 様

<大宮中「性の学習」を終えて>

- (1年) 今日の性に関する学習を終えて、改めて自分の命、他の人の命はとても大切なものだと感じました。赤ちゃんのもとになる受精卵ができる確率は、1/1051兆2000億だと知り、自分はそんな確率の中で生まれてきた奇跡なのだと思います、とても驚きました。また、自分を大切に育ててくれた両親に感謝したいと思いました。
- (2年) 今回の授業で、人が全員違う個性をもっているのはわかってはいたけど、男子と女子というだけでこうも違ってくるものなのかと思った。また、互いが互いをどう思っているか、どういうイメージがあるのかが知れるよい機会になった。直してほしい所とかは、意外と当たっている所もあったりしたので、出来る所は改善したいと思った。次の学習でも考えを深められたらと思う。
- (3年) 「性」という言葉が指すものは1つじゃないんだなと思いました。今でこそ科学・技術・情報の進歩があるから、医療、出産の現場では良いことばかりだけど、インターネットで流出している情報に惑わされてしまうこともあるんだと分かりました。大切な受験も控え、高校生に夢を見ている今、合格後、気分が浮かれているところを一番考えていかなければならないのかなと思いました。中学生になると、つきあう子が増えたり、他校との交流もあって、他校の人とつきあう子もいたりして、「自分は」興味がなくて、「自分は」つきあっていないけれど、どこか「自分は」で他人事にしていたように思います。本当は全く他人事なんかじゃなくて、知らないだけで、何も見られていなかったのだろうなと思いました。

自分にもあんなに小さいころがあって、でも15年後ここまで成長して改めて成長ってすごいと思いました。15年間ここまで育てるのは絶対に簡単じゃなかったはずなのに、育ててくれた親に感謝だなあと感じます。逆子でさらにへその緒が首に巻きついていたら帝王切開をし、大変だったと母が言っていたことを思い出しました。これから、高校・大学・社会人と進学、就職していく中で、好ましい人とのつきあい方を考えていくべきだなと思いました。

令和元年度(平成31年度)大宮学園年度末全体会

大宮学園では、2月12日(水)、年度末全体会を開催し、今年度の年間教育活動や組織運営について評価するとともに令和2年度の取組の方向性を確認し合い、共通理解を図りました。今年度の評価の根拠になるのは、大宮学園小・中学校の保護者の皆様にご回答いただいた「保護者アンケート」、また「6年生児童並びに全中学生アンケート」「教職員アンケート」です。今回評価した内容は、3月3日(火)に開催予定の「大宮学園第2回教育支援協議会」で報告し、次年度に引き継ぐこととなります。

なお、各種アンケート結果につきましては、今年度中にこの「大宮学園小中一貫教育だより」で保護者・地域の皆様にお知らせします。

